

経済産業省「未来の教室」実証事業

『未来の教室 in 釜石』

震災復興からのSDGs @釜石を題材にした人材育成プログラム





加藤 遼 (かとう りょう)

パソナ ソーシャルイノベーション部長
パソナJOBHUB 旅するようにはたらく部長
VISIT東北 取締役
内閣官房 シェアリングエコノミー伝道師

パソナ入社後、大手から中小・ベンチャーまで幅広い業界・業種・規模の企業の人財採用・育成・活用支援に携わった後、行政・企業・NPOなどと連携して、若者雇用、東北復興、海外展開、地方創生、観光立国、シェアリングエコノミーなどをテーマにした事業企画・開発・立上りに取り組む。直近は、シェアリングエコノミー推進による個人が主役の観光まちづくり、都市と地方の複業推進による関係人口創出や新しい仕事・働き方の創造に取り組む。また、東北未来戦略ファンド・地方創生ファンドの事務局として、起業家の発掘・育成、事業のインキュベーションに取り組む、出資先であるVISIT東北の事業開発・戦略担当役員も兼務。その他に、政府・自治体のシェアリングエコノミー・ローカルベンチャー・インターンシップ・リカレント教育政策に関する委託・委嘱業務、地域活性化に関する産学連携プロジェクトなどの活動にも積極的に参加している。

1. 未来の教室in釜石の概要
2. 未来の教室in釜石の実施結果
3. 今後の展開について

1. 未来の教室in釜石の概要

2. 未来の教室in釜石の実施結果

3. 今後の展開について

コンセプト

釜石で、**未来の自分**を創造しよう。

社会問題にあふれた世の中で、わたしたちひとり一人には何ができるのでしょうか。

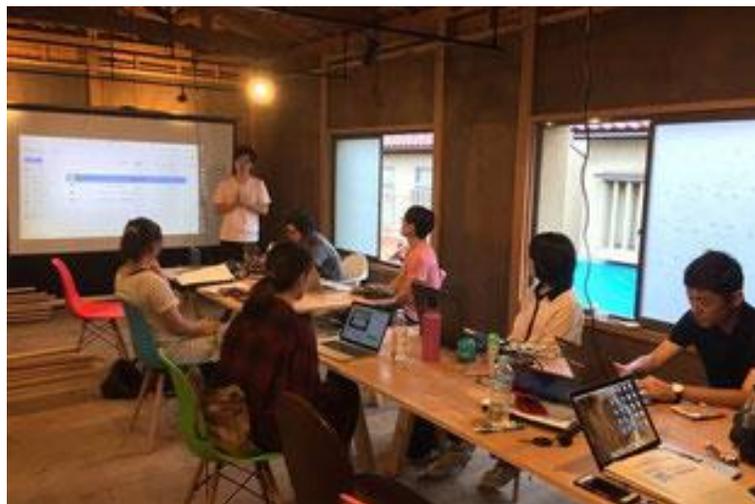
岩手県釜石でのフィールドワークを通して、
自らを見つめ、仲間と学び、そして自分の未来を創造するプログラム。
それが、「未来の教室in釜石」です。

実際に現地へ足を運んで社会課題を体感、多様なメンバーとともに解決へと導き、
自分の生き方や未来を創造してみませんか？

プログラムの概要

今回のプログラムの舞台は岩手県釜石市。震災復興からのSDGs（※）を推進する釜石に実際に足を運んで、現地の企業、住民の方々を巻き込んだ課題の設定と解決を行なっていただきます。これからの未来を自分で創造していくきっかけを盛り込んだプログラムです。

（※）SDGs：「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称



岩手県の南東部、世界三大漁場の一つ、三陸海岸の一角をなす釜石市。震災以降、オープンシティを合言葉に多様な企業・人材と共に復旧に留まらない復興・創生のまちづくりを進めています。

チームで考え、チームで学ぶ。プログラム参加者と5人前後のチームを組んで、釜石の課題解決に向けたグループワーク。課題設定や合意形成など、事業でのプロジェクトマネジメントに不可欠なスキルを学びます。

これからの未来を自分で切り開くプログラム終了後、参加者は自らのフィールドで活躍することを目指します。

プログラムの特徴

チェンジメーカー
との出会い

チェンジメーカーとの
対話を通して、
課題解決・変革の
本質を知る

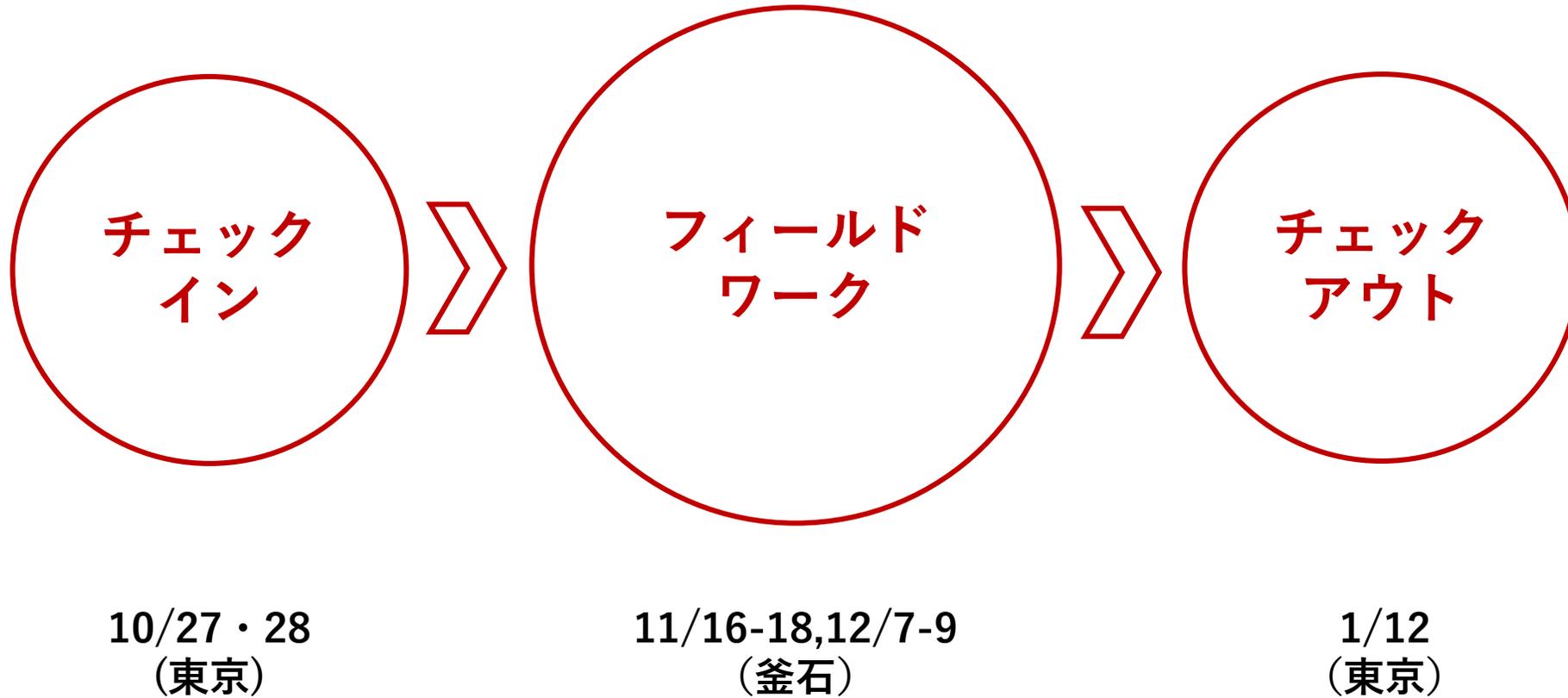
メンターによる
伴走

自分の専門性・強みを
活かした
アクションプランの
作成・実行をサポート

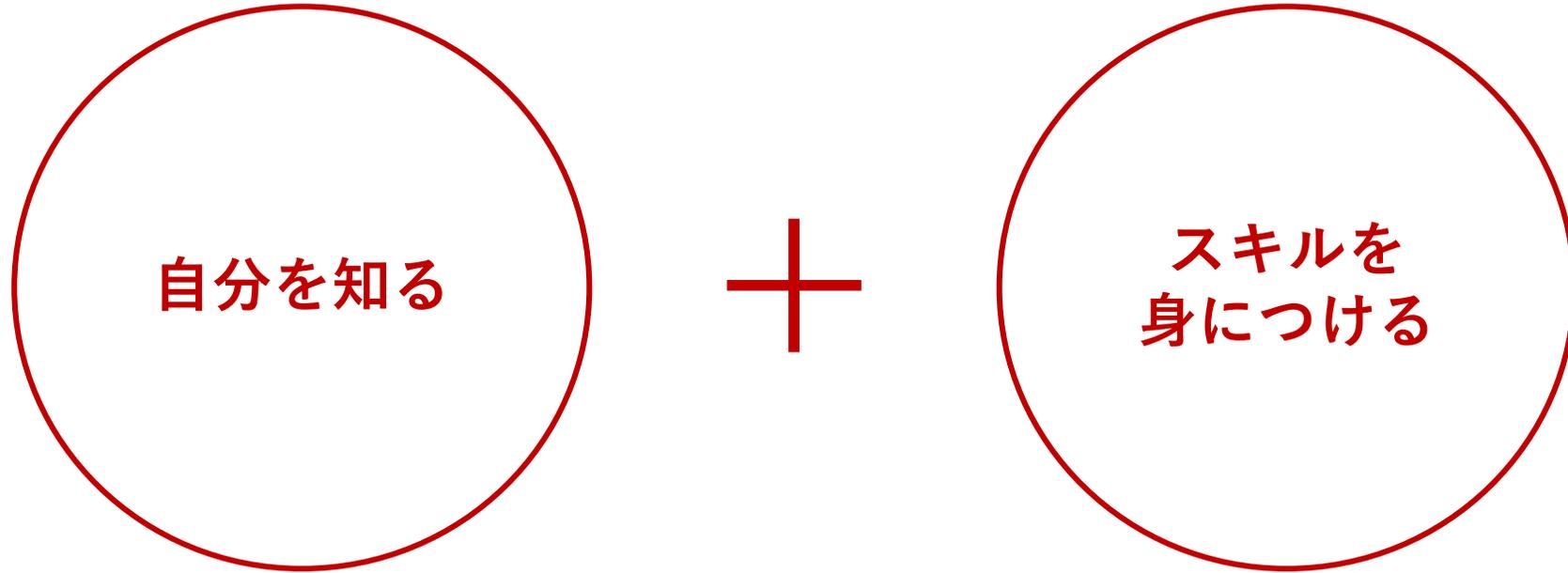
プログラム参加
前後での振り返り
・効果測定

自らの変化を知る

プログラムスケジュール



チェックイン



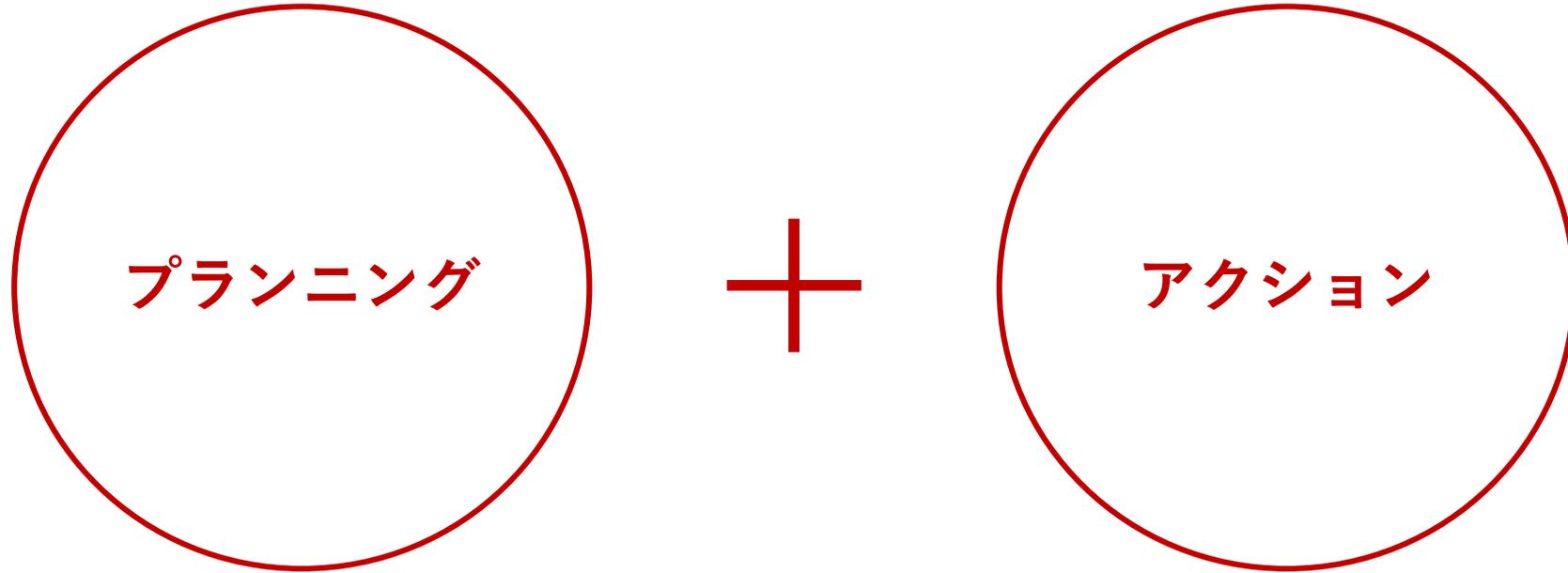
MY SDGs

EQ

コミュニケーション

事業創造

フィールドワーク



チェンジメーカーセッション
ワークショップ
with ローカルベンチャー

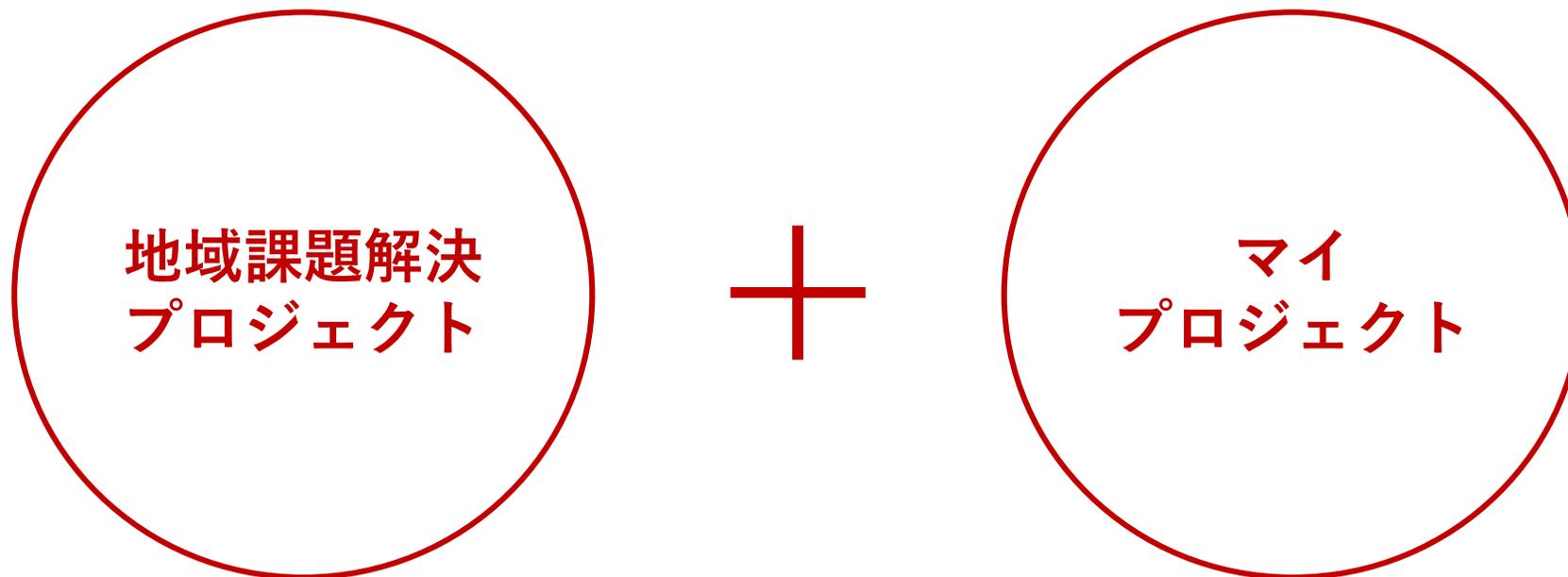
アクション
with ローカルベンチャー
マイプロジェクト宣言

チェックアウト

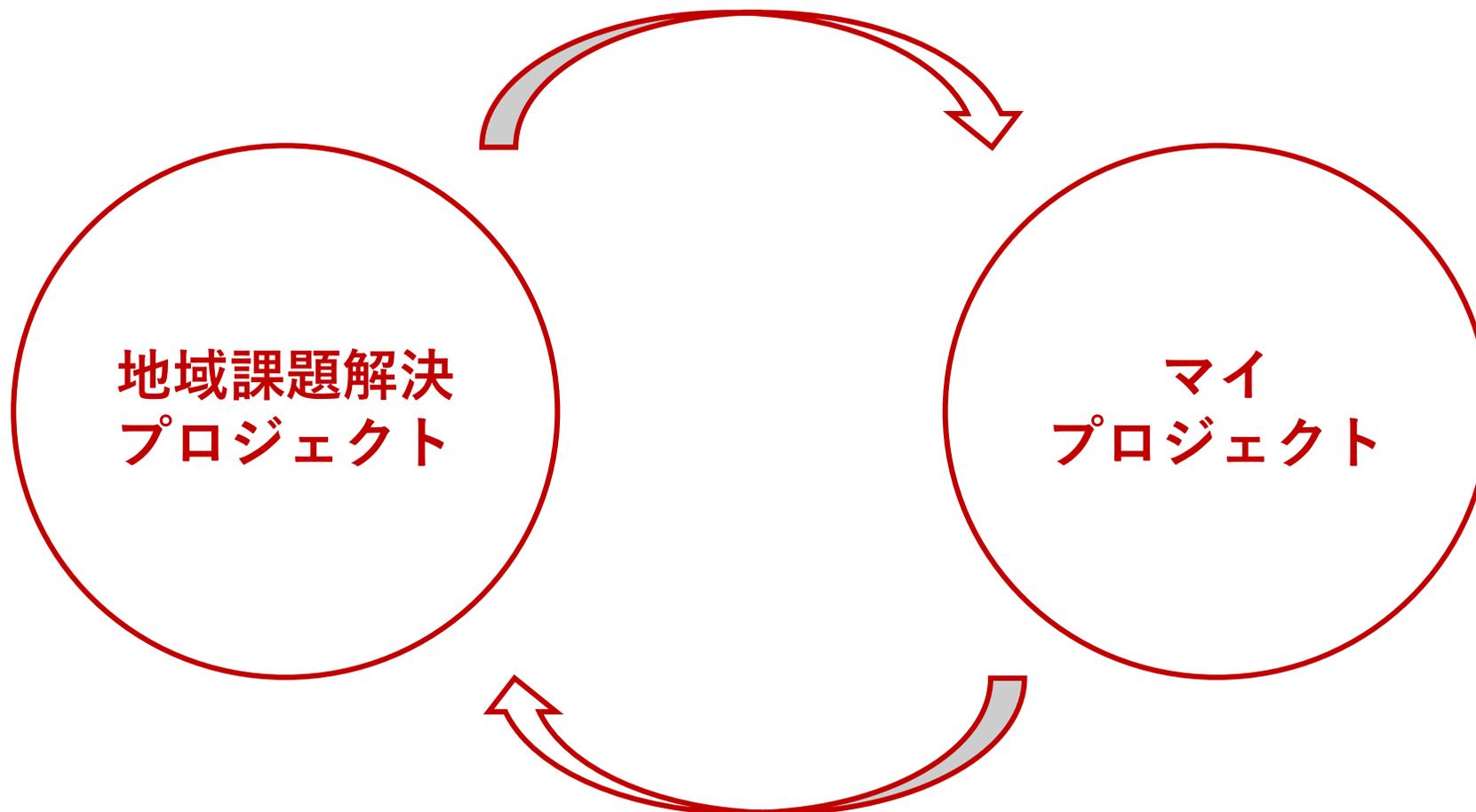


マイプロジェクトプレゼン

地域課題解決プロジェクトとマイプロジェクトを同時に実施



地域課題解決プロジェクトの学びをマイプロジェクトに活かす
マイプロジェクトが地域課題解決プロジェクトになる人もいる



地域課題解決プロジェクトとマイプロジェクトの関係

- ・プログラム参加者は、地域課題解決プロジェクトとマイプロジェクトに取り組む
- ・プログラムの段階ごとに、2つの取り組みについてのインプットとアウトプットを繰り返す
- ・プログラム終了後における継続的な地域課題解決プロジェクトの実践及びマイプロジェクトの実践を意識して、2つの取り組みを実践する
- ・ポイントは、**地域課題解決プロジェクトの学びを具体的にマイプロジェクトに活かすこと**である

プログラム プロセス	事前研修	フィールドワーク ①	フィールドワーク ②	事後研修	プログラム終了後
地域課題解決 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsや釜石についてのインプット ・課題解決マインドやフレームワークのインプット 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェンジメーカーとローカルベンチャーとの対話 ・地域課題解決アイデアとアクションプランのアウトプット 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決アイデアのプロトタイプのアウトプット ・プロトタイプの顧客へのテストマーケティング 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決プロジェクト実施レポートのアウトプット 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な地域課題解決プロジェクトの実践
マイ プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・モチベーショングラフの提出 ・SDGSワークシート作成 ・EQ振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアの振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイプロジェクトのアクションプランのプレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイプロジェクトのアクションプランの進捗状況報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイプロジェクトの実践

地域課題解決プロジェクト概要

- ・釜石市において地域の課題・資源等を起点に事業創造を目指す実践者である釜石ローカルベンチャーコミュニティメンバーと参加者が協働。
- ・20名の参加者が4チームに分かれ、ローカルベンチャーメンバーそれぞれの事業推進をテーマに地域課題設定・解決に取り組む。
- ・地域で自ら課題を設定し解決に取り組むメンバーと協働し、することで、課題設定・解決力、当事者意識、多様性の中で協働する力を養う。

フィールドワーク①

フィールドワーク②

原体験

釜石でローカルベンチャーの活動現場に触れ、ローカルベンチャーの課題に取り組みたいという動機を醸成する

ビジョン

ローカルベンチャーの事業を通じて、どのような社会の状態を生み出したいか、そのために人々の行動をどう変えたいのかを考え、言葉にする

アイデア創造

多くの人を巻き込めるワクワクする大胆なアイデアを生み出す

顧客価値定義

具体的な顧客を設定して、顧客が求める価値を定義する

市場設定

対象となる市場を設定する

プロトタイプ

アイデアを具体的な製品・サービスのプロトタイプ（試作品）として形にする

テスト

プロトタイプを提供可能な状態にして顧客に提供してみて、反応を見してみる

地域課題解決プロジェクトパートナー (ローカルベンチャーコミュニティメンバー)

福田 学 / 観光×サイクルツーリズム

活動の経緯

母の地元であり、被災地でもある岩手県の復興への貢献と新しい生き方を求め、オープンシティの釜石市でローカルベンチャーズに応募。自然やスポーツなど釜石の魅力をまるごと体感できる観光事業を目指す。

活動内容

釜石からガイドツアーと地域体験コンテンツを組み合わせた事業のモデルを創出し全国に発信する。地域の多くの方と繋がり、釜石の魅力を発掘。将来的には企業などと連携しながら観光コンテンツとして三陸地域で広く事業展開できる体制を整えていく。



吉野 和也 / 里海レジャーダイビング×地域ガイド×食べる通信

活動の経緯

復興支援で三陸沿岸地域に関わったことをきっかけに釜石に根を下ろして新たなチャレンジをしたいと考え応募。ダイビング・観光・イベントを複合的に組み合わせ、三陸・釜石の豊かな海の魅力を発信を目指す。

活動内容

三陸の海の魅力を多くの人に伝えるため、地域の関係者との信頼関係を構築し。魅力の発見や自身の潜水技術の向上に取り組む。現在や地域のニーズにあった地域の観光ガイド事業と観光レジャーや海の環境保全に繋がる事業（里山レジャーダイビング）、そして地域の生産者と消費者を直接つなぐ大槌食べる通信(2019年3月より三陸食べる通信に改称)の3つのプロジェクトを連携し、事業創造に取り組む。



地域課題解決プロジェクトパートナー (ローカルベンチャーコミュニティメンバー)

東谷 いずみ/ 商店街活性化×ゲストハウス

活動の経緯

実家が釜石市の隣の大槌町で民宿を営んでいたこと、震災で多くの人が支援で訪れる一方、地元の友人は地域外に流出しているという背景から、ゲストハウスを通してそこに住む人、外から訪れる人が集まるハブのような場所を作ることを目指す。

活動内容

まず、民泊運営から始め、地域に住む人々との関わり合いを大切に、「人と人、地域とがつながる場づくり」の形としてゲストハウス開業に向けて2018年9月より活動開始。地方暮らしの一つの姿としてこの地でのチャレンジや帰郷に悩んでいる人の背中を押すきっかけづくりに取り組んでいる。



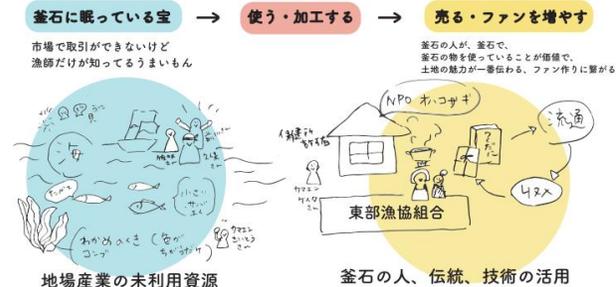
松浦 朋子/ 未利用資源活用×地域ブランドづくり

活動の経緯

利益追求の生活を見直したいと考え、今後の働き方を模索していたタイミングでローカルベンチャーズの制度を知った。自分のスキルや経験を活かすこと、釜石の地域ブランドづくりを目指す。

活動内容

よそ者として、外の目線から釜石を掘り下げ、地域発の商品やサービス開発をおこない「釜石のいいところを売っていく」事にチームで取り組んでいる。地域内にしか出回らない幻の「甲子柿」を、地域の方々の経済循環と共に商品として展開し、持続可能な生産の形を構築することを目指している。釜石で作られたことが「価値」になり、世界中の人が「釜石」を知るような釜石ブランドを確立し、多くの人が釜石に関わる仕組みづくりに取り組んでいる。



マイプロジェクトの定義

自ら問題を発見し、

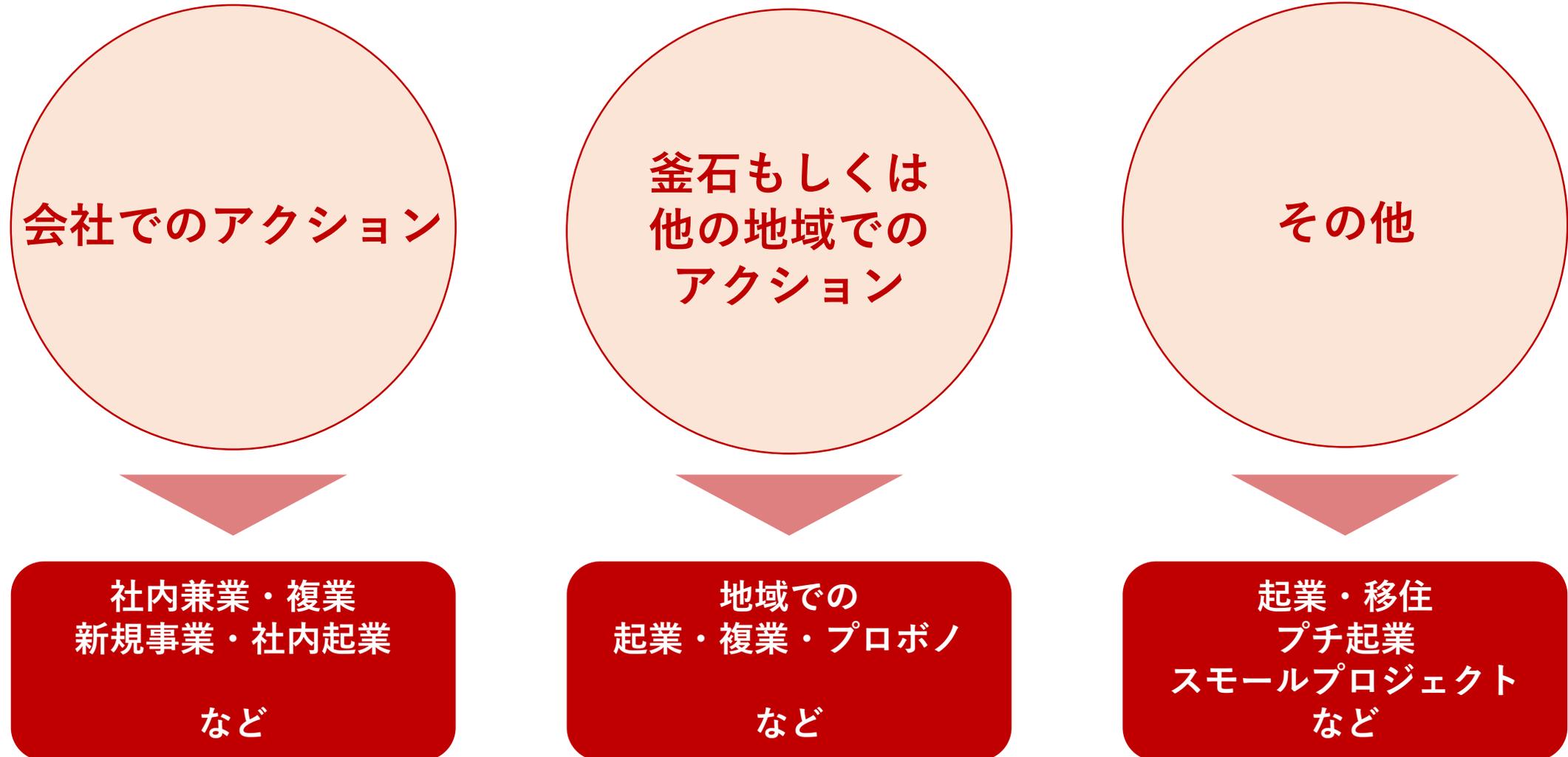
課題を設定し、

解決策のアイデアを出して、

仲間を巻き込んで、

具体的なアクションにつなげるプロジェクト

マイプロジェクトのパターン



1. 未来の教室in釜石の概要

2. 未来の教室in釜石の実施結果

3. 今後の展開について

参加者の募集・選考

■参加者募集

- ・ パソナグループからのご案内による応募多数
- ・ 参加者公募はFacebookからの流入多数

実施施策

パソナグループからのご案内 (DM)

「未来の教室in釜石」のFacebookページ

Facebook広告

会社からの紹介

連携会社からのご案内
((株) Ridilover、キャプラン (株))

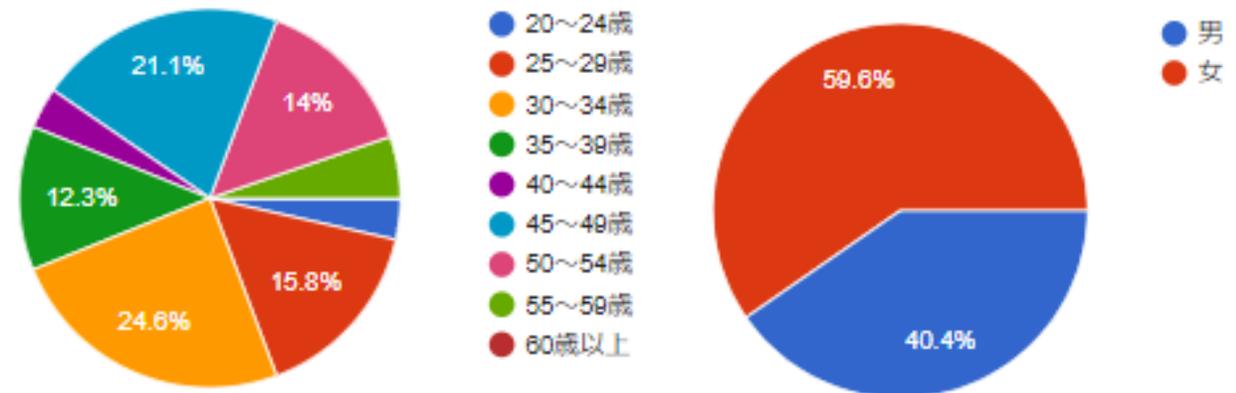
経産省・BCGの「未来の教室」プログラム案内

知人・友人の紹介

■選考

- ・ 年齢男女のバランス、プログラム参加後の出口を見据えた参加目的が整理されているかを考慮し、選考。
- ・ 参加動機、雇用形態、年代の異なる多様な応募者を獲得 (計52名)
- ・ 応募者のうち女性が約6割と女性比率が高い

■応募者の年代・性別



プログラム参加者

名前	年代	性別	就業先分類
A	40代	女性	NPO法人
B	30代	女性	サービス業
C	20代	男性	教育・学習支援業
D	20代	男性	サービス業
E	20代	女性	学術研究,専門・技術サービス業
F	50代	女性	サービス業
G	30代	男性	金融,保険業
H	30代	男性	製造業
I	30代	男性	学術研究,専門・技術サービス業
J	40代	女性	サービス業
K	30代	女性	情報通信業
L	50代	女性	サービス業
M	20代	男性	公務
N	40代	男性	生活関連サービス業
O	30代	女性	無職
P	40代	男性	学術研究,専門・技術サービス業
Q	30代	男性	製造業
R	30代	男性	公務
S	30代	女性	サービス業
T	40代	男性	卸売業

成果

■達成したい状態（達成までの仮説）

- ・都市部の企業に勤める20～50代の会社員、人事担当者、人材開発担当者等の多様な参加者が、釜石でローカルベンチャー（起業型地域おこし協力隊）との地域課題解決プロジェクトを協働することにより、自身のマイプロジェクトを考え形成。
- ・人・テーマ・場所を変えて地域課題解決プロジェクトに取り組むこと、釜石のチェンジメーカーとの対話等を通して、普段の自分からの思考等の解放を行い、チェンジメーカーとして必要な資質を身に着ける。
- ・マイプロジェクトを作成するにあたり、自分で意思決定をして、創造することにより、チェンジメーカーとしての必要な意思決定力と創造力を身に着ける。

■実際の達成度合い

- ・チェックイン前、フィールドワーク①後、フィールドワーク②後の3度EQ適性検査を実施。測定したEQの変遷データでは、11個の項目で、大幅に数値が向上。また、チェンジメーカーの要素10個中8個の項目で大幅に能力UPを図った。
- ・参加者20名全員がマイプロジェクトを作成し、プログラム参加後のネクストアクションを設定。うち2人が釜石での複業、2人が新規事業の社内立案、2人が未来の教室in釜石を企業研修として導入等の取り組みを開始した。
- ・また、プログラム参加後のアンケートで今後取り組みたいこととして、参加者の55%が地域での複業、25%が社内で新規事業立案をする意向があると回答するなど、地域への関係人口創出、そして企業内起業家（イントレプレナー）育成への効果が見られた。
- ・アンケート結果でも、プログラム中に参加者に影響を及ぼしたコンテンツは「釜石での地域課題解決プロジェクト」が半数を占め、今後のキャリア形成を考えるに役立ったコンテンツに関しては「マイプロジェクトの作成」がもっとも多くの人から回答を得た。

■理由・改善/発展の方向性

- ・「釜石での地域課題解決プロジェクト」での能力開発とともに、自身のキャリアを考える「マイプロジェクト」の作成を並行して行ったことが本プログラムでの成果につながった。
- ・プログラムで参加者の伴走を行うメンターを育成し再現性を高める。

EQ適性検査結果

■EQ変遷 考察

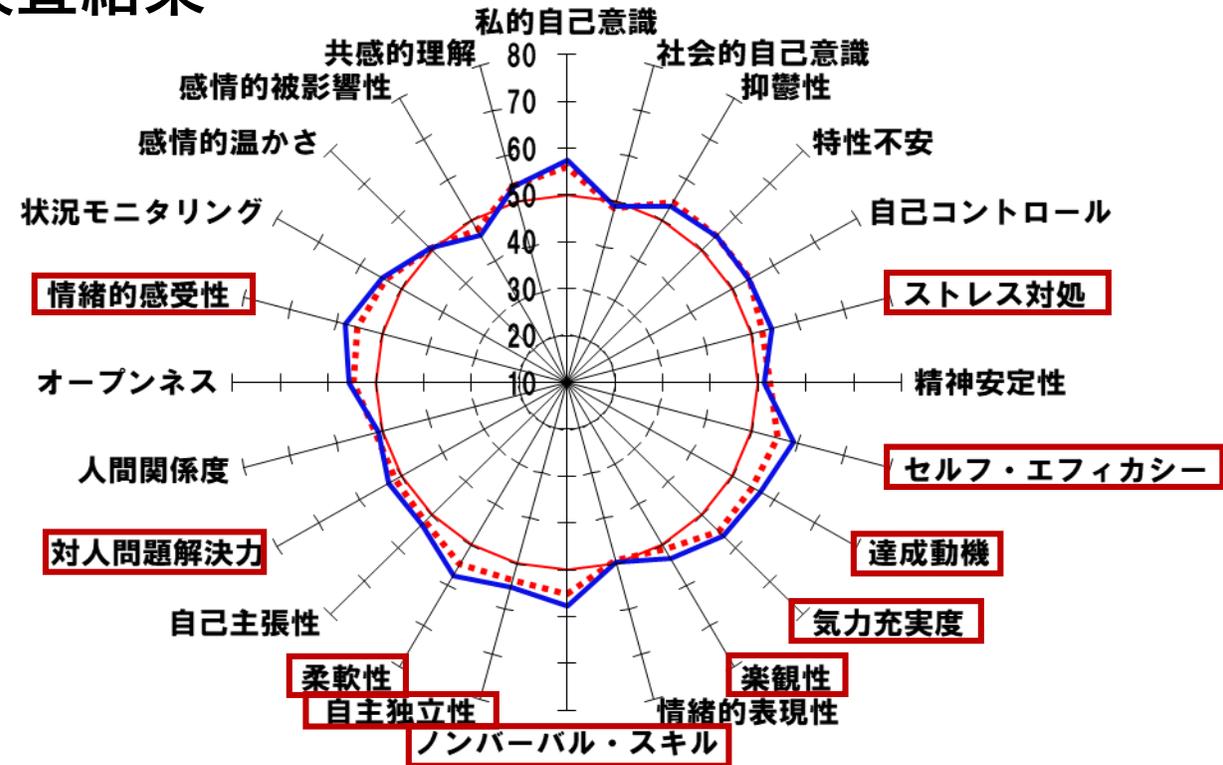
・元々、行動量の多い(高い)集団ではあるが、さらに全体的に行動量は増えている。

特に**モチベーション領域、積極領域の行動量が増えている。**

・グループでのコミュニケーションや現地での出会いなどの影響により、もともと高い”情緒的感受性(相手の気持ちを敏感に察知する)”がより高まっている。

・モチベーション領域が高まることで、情緒的感受性は高まっているが、感情的被影響性(人の感情への巻き込まれ易さ)は下がっている。

・新しい環境で新しいことに取り組む中で”精神安定性”が若干下がっている。ただ、”精神安定性”が低いというのは”慎重さ”が高いとも捉えられるため、よい傾向と捉えることも出来る。



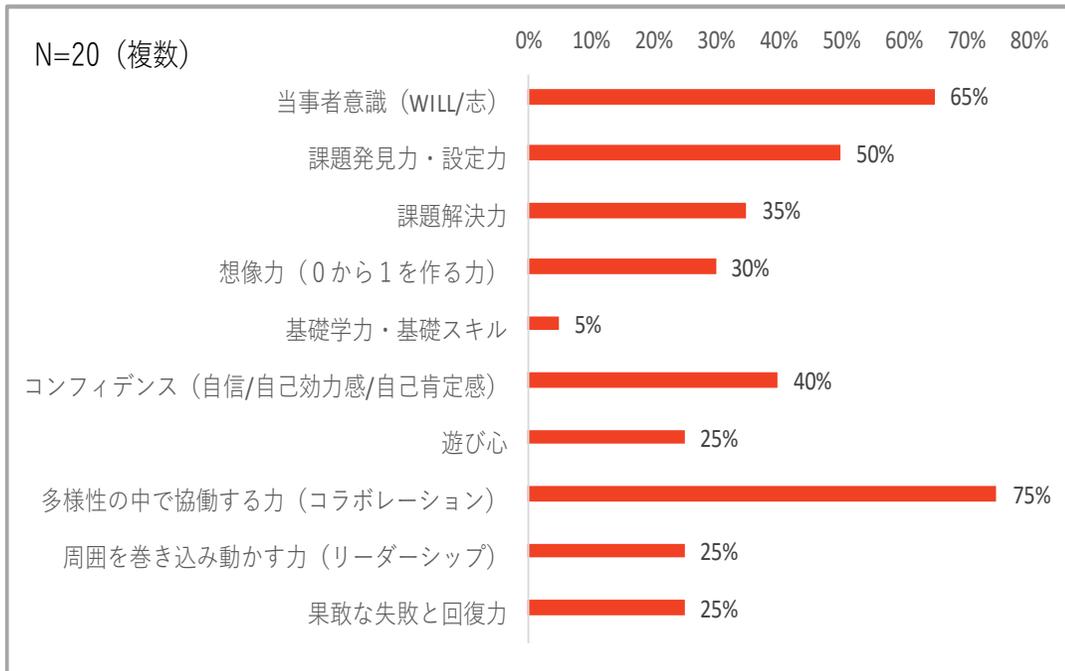
	私的自己意識	社会的自己意識	抑鬱性	特性不安	自己コントロール	ストレス対処	精神安定性	セルフエフィカシー	達成動機	気力充実度	楽観性	情緒的表現性
1回目	56.1	48.4	54.5	54.1	54.2	52.2	52.4	55.7	54.8	54.8	51.0	49.4
3回目	57.4	48.9	53.5	54.2	54.1	54.4	51.3	59.1	56.6	56.4	53.5	49.7
差異	1.3	0.5	-0.9	0.1	-0.1	2.1	-1.1	3.4	1.9	1.6	2.5	0.4
	ノンバーバルスキル	自主独立性	柔軟性	自己主張性	対人問題解決力	人間関係度	オープンネス	情緒的感受性	状況モニタリング	感情的温かさ	感情的被影響性	共感的理解
1回目	55.3	53.9	54.8	52.1	51.5	51.7	54.8	55.5	53.8	50.3	47.7	53.4
3回目	57.8	55.3	57.7	53.1	53.2	51.0	55.8	58.2	54.6	50.5	46.2	53.4
差異	2.6	1.5	2.9	1.0	1.7	-0.7	1.0	2.7	0.8	0.2	-1.6	0.0

参加者アンケート結果（習得した能力）

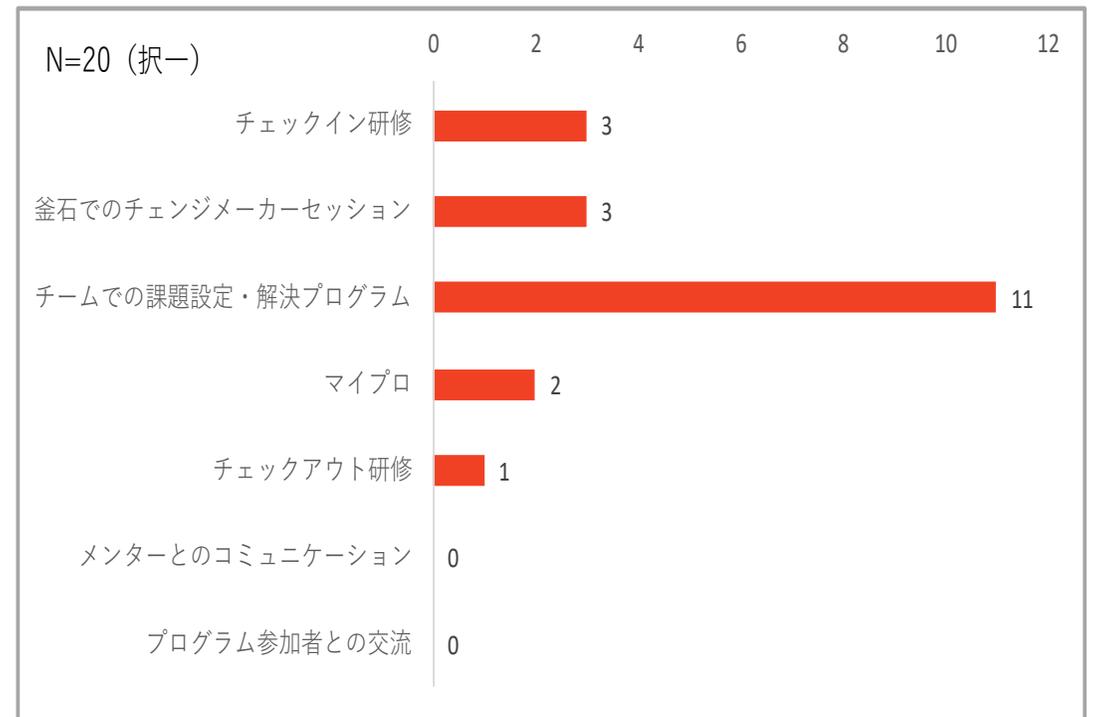
■考察

・参加者の多くがチームでの地域課題解決プロジェクトによって当事者意識や多様性の中で協働する力が高まったと感じている。

習得した能力



もっとも成長に繋がったプログラム

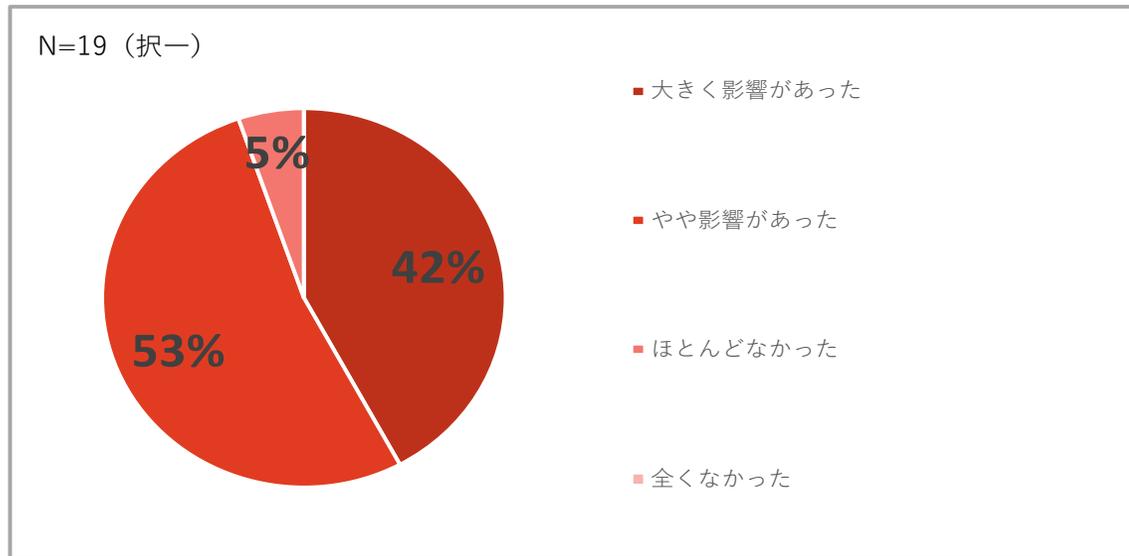


参加者アンケート結果（キャリアへの影響）

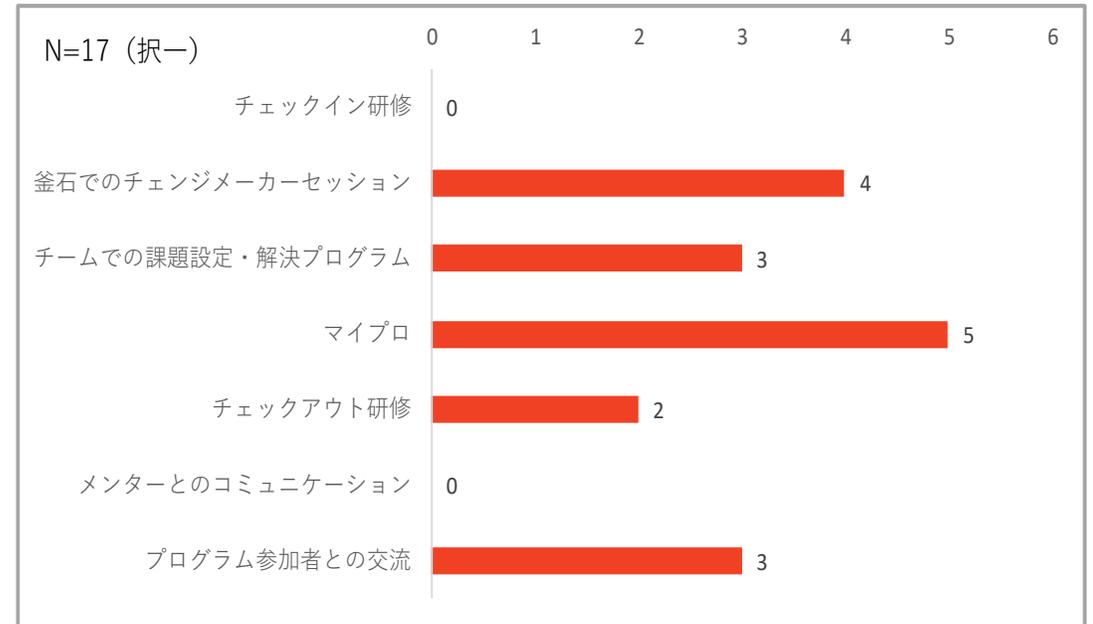
■考察

・参加者のほとんどがマイプロジェクトによって今後のキャリアに影響があったと答えており、マイプロジェクトの形成が参加者の今後に大きく影響していると考えられる。

キャリアへの影響



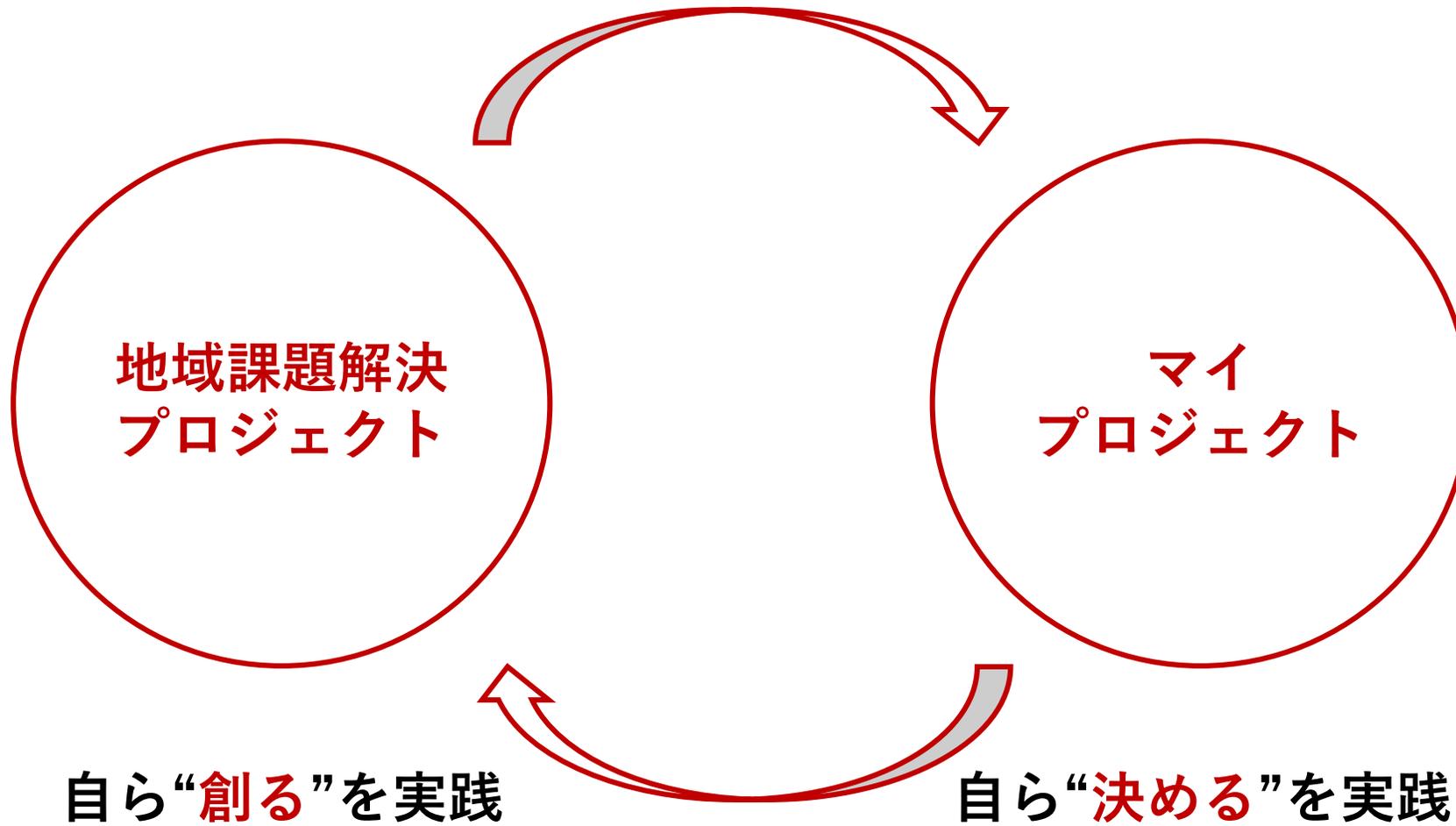
もっとも影響があったプログラム（「1」「2」回答者）

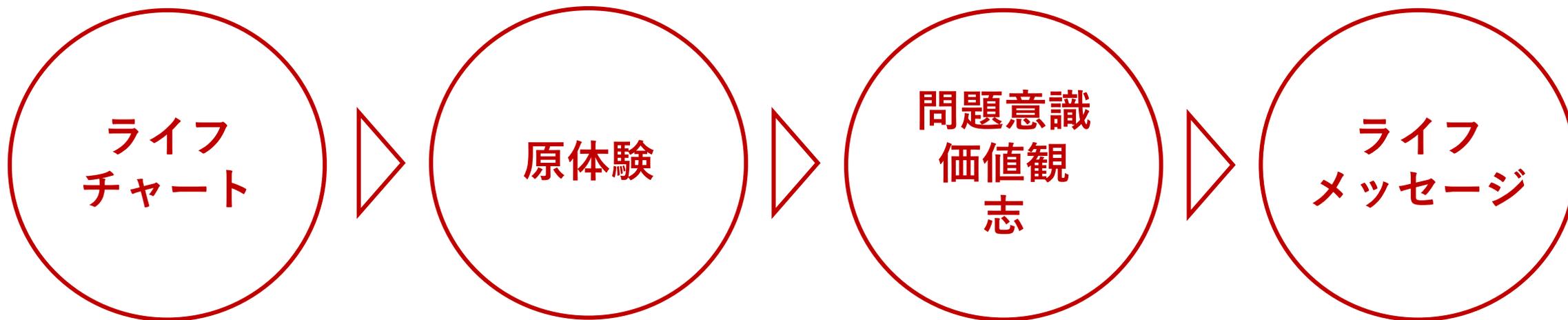


未来の教室in釜石の狙い

「創造力」と「意思決定力」

自ら“**創る**”力と自ら“**決める**”力を育む





未来の教室in釜石

マイプロジェクト

自ら問題を発見し

課題を設定し

解決策のアイデアを自ら“創り”出して

ライフメッセージを発信して仲間を巻き込んで

自ら“決めて”具体的なアクションをする

1. 未来の教室in釜石の概要

2. 未来の教室in釜石の実施結果

3. 今後の展開について

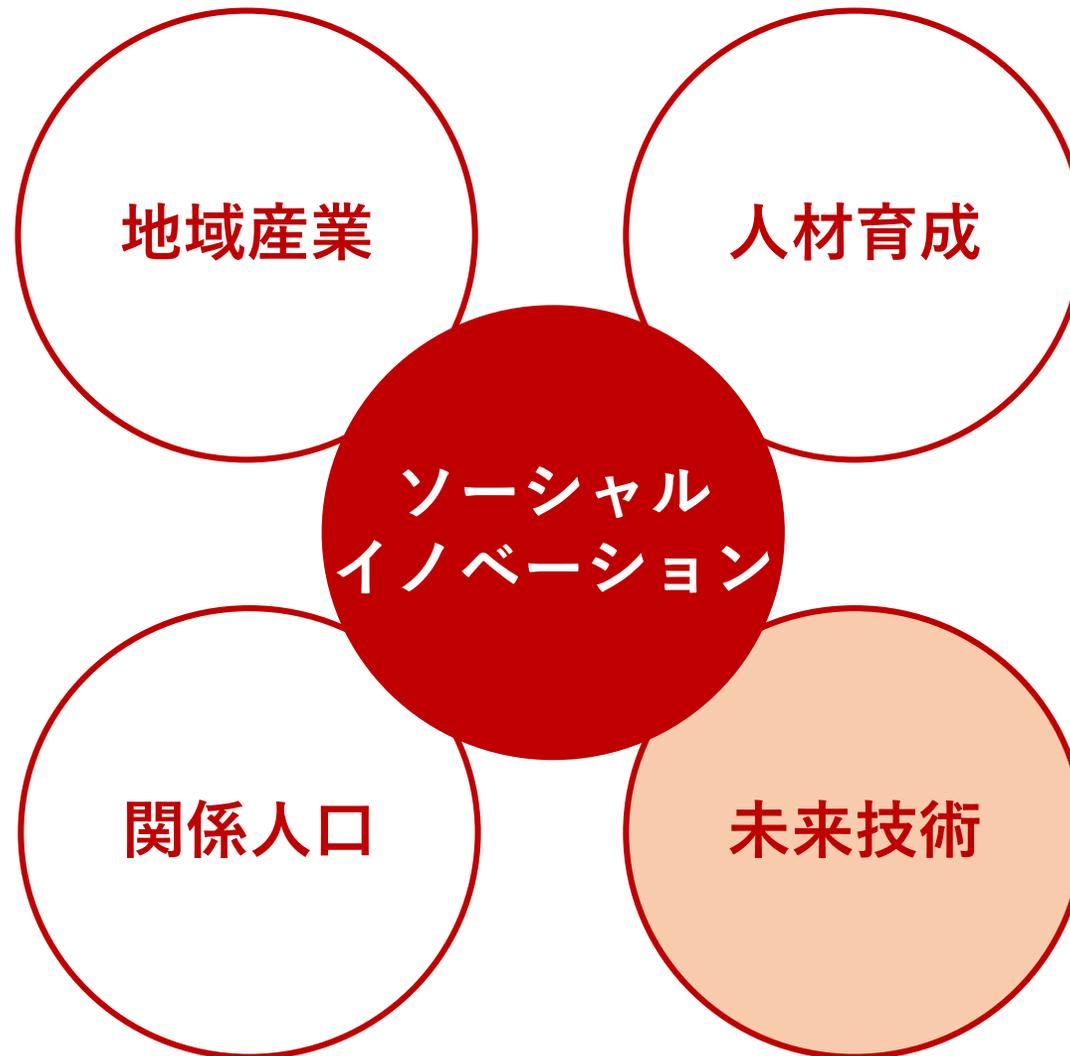
顧客・市場・顧客価値の整理

- ・顧客・市場・顧客価値を体系的に整理したうえで、今年度の実証プログラムをサービス化
- ・企業研修市場に対して、若手リーダー育成・マネージャー育成に資するラーニングツールズとして展開
- ・人材採用市場に対して、企業の複業人材採用、個人の複業案件獲得に資する複業マッチングプログラムとして展開
- ・旅行市場に対して、新しい体験や知識の習得に資するスタディツアーとして展開

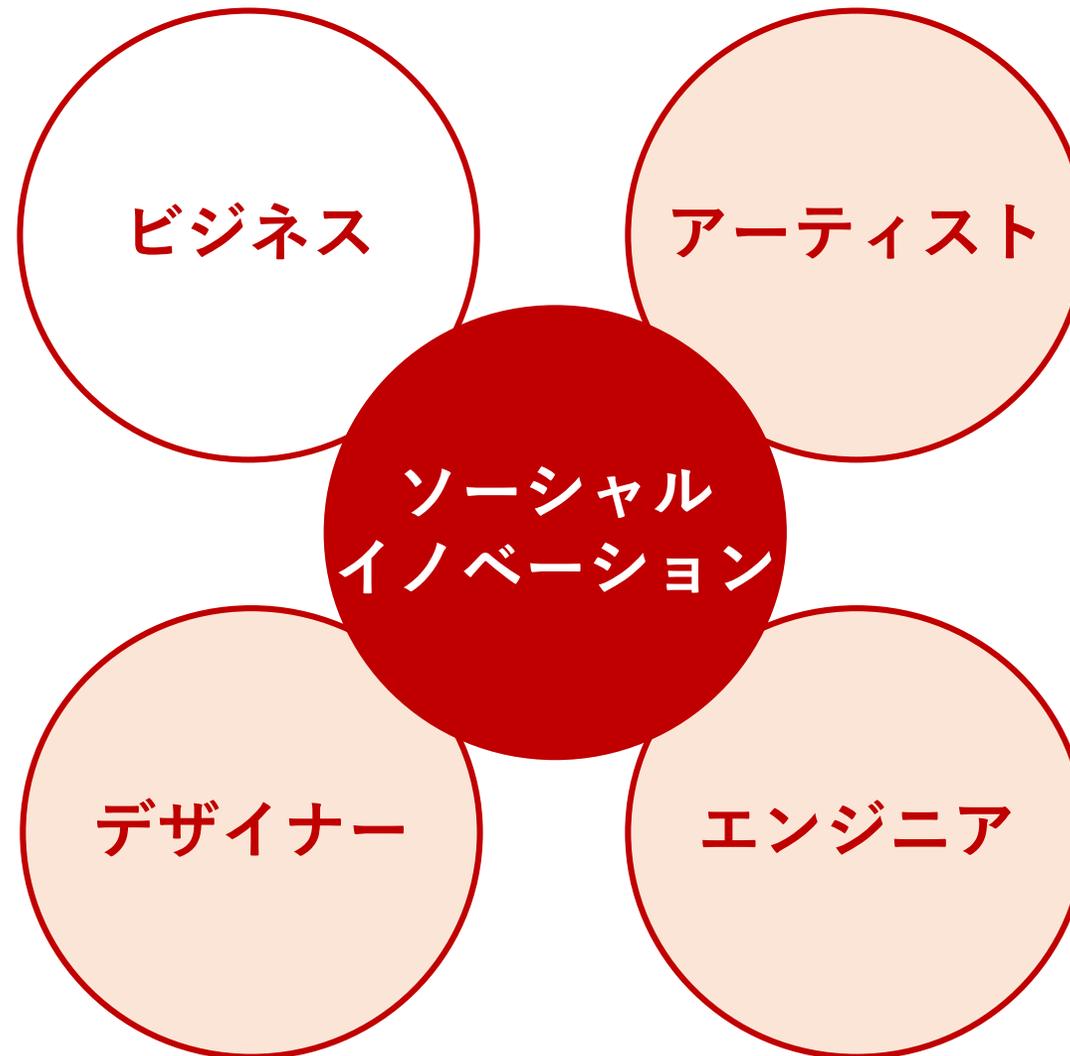
事業プロセス

顧客	市場	顧客価値	事業実施準備	参加者募集・選考	チェックイン	フィールドワーク	チェックアウト	ネクストアクション
企業	企業研修	若手リーダー育成 マネージャー育成	ラーニングツールズとして事業企画	送出元企業募集 研修参加者募集	若手リーダー向け地域課題解決LBP マネージャー向けダイバーシティマネジメントLBP ※企業人事と連携等		社内起業・異動	
	人材採用	複業人材確保	複業マッチングプログラムとして事業企画	複業希望者募集	複業希望者と地域企業・団体とのマッチングを目的とした仕事体験や経営課題解決提案 ※複業人材マッチングPFと連携		複業人材採用	
個人	旅行	新しい体験や知識の習得	スタディツアーとして事業企画	スタディツアー参加者募集	社会課題を題材として現場での体験による知識の取得を目的としたスタディ ※旅行会社と連携等		マイプロジェクト企画・実施	
	人材採用	複業案件獲得	複業マッチングプログラムとして事業企画	複業希望者募集	複業希望者と地域企業・団体とのマッチングを目的とした仕事体験や経営課題解決提案 ※複業人材マッチングPFと連携		複業案件獲得	

地域産業 × 人材育成 × 関係人口 × 未来技術



ビジネス + アーティスト
+ デザイナー
+ エンジニア



未来の教室
Learning Innovation

≡

ソーシャルイノベーションラボ
Social Innovation Lab.

Thank you.

